

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書**地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4679000127
法人名	有限会社 孝誠
事業所名	グループホーム がじゅまる
訪問調査日	平成 19 年 8 月 8日
評価確定日	平成 19 年 12月 10日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2007年8月23日

【評価実施概要】

事業所番号	第4679000127号
法人名	有限会社 孝誠
事業所名	グループホーム がじゅまる
所在地	鹿児島県大島郡喜界町大字 志戸桶 4545 番地 (電話) 0997 - 55 - 5077
評価機関名	特定非常利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48番~13号
訪問調査日	平成19年8月8日

【情報提供票より】(19年 7月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成15年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 6 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	8.4

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り 1階建ての ~ 1階部分
------	------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	1日200 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	800	円	

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	7 名	要介護2	1 名		
要介護3	名	要介護4	名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 87 歳	最低	75 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人中澤医院、喜界町国民健康保険診療所、喜界徳洲会病院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

南国情緒豊かで、笑いが響きわたり、温かくどこか懐かしい雰囲気をかもし出しているホームである。管理者は地域高齢者福祉に熱意を持ち職員はその思いを汲み、利用者に寄り添いながら日々のケアの探求に努めている。又自己研鑽意欲も高く、地理的な条件のマイナス面をカバーしながら積極的に研修会に参加している。ホームの取り組みの特色でもある「心身機能活性化療法」の訓練をデイサービス利用者と一緒にやっている。結果は介護度改善に如実に表れて職員の励みとなっている。子供110番の家として活動の準備やショートステイの受け入れ準備など地域密着型サービスのホームとして今後ますますの発展が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	期間短縮の見直しについては、更新前の見直しと状態変化の折に都度の見直しを行い、実践的な対応ができるように努めている。見直し後の評価も職員と行っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	評価の意義を理解している。ミーティング時に時間をかけて自己評価に取り組み、改善課題を職員と話し合い、サービスの質の向上に活かすように取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	利用者、家族代表、地区長、民生委員、行政の担当職員、包括支援センターの職員等、幅広い人の参加を得ている。自己・外部評価の報告や事業所の取り組み内容や行政の課題、協力関係を話し合っている。意見や要望を集約し、地域の理解や協力を求めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	ホーム便りや月次報告書(個人別)を発行したり、家族会や家族等来訪時に現状について積極的に情報提供している。介護計画、作成時などに意見や要望を出してもらい、出された要望等はミーティングで話し合い運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	集落の行事への参加、班の配り物を利用者と配布したり、近所の高齢者との交流は深い。小学生・幼稚園生がボランティアとしてきてくれたり、子供110番の家としての準備をするなど地域との交流は盛んに行われている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義とその人らしく暮らせる支援を職員全員で確認し、家族や地域との交流を重視した理念を職員と話し合い作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共有空間の居間に理念を掲示している。日々の申し送りや、ケア会議で理念を伝えて共有し、ケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	集落の行事への参加、班の配り物を利用者と配布している。小学校・幼稚園生がボランティアとしてきてくれたり、近所の高齢者との交流や子供110番の家として準備をするなど、地域との交流をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解している。ミーティング時に時間をかけて自己評価に取り組み、改善課題を職員と話し合いサービスの質の向上に活かすように取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、家族代表、地区長、民生委員、行政の職員、包括支援センターの職員等幅広い人の参加を得て、自己・外部評価の報告、事業所の取り組み内容や改善課題、協力関係を話し合っている。意見や要望を集約し、地域の理解や協力を求めている。		

鹿児島県 グループホームがじゅまる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所の取り組みについて実情を報告したり台風の折には町の職員が見守りをしてくれるなど、気軽に連絡や相談できる関係を築いておりサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	個人ごとに月次報告書を発行したり、家族会や家族等の来訪時に現状について積極的に情報提供している。金銭管理は出納帳により管理し、定期的に請求書と一緒に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、家族等の来訪時や介護計画作成時に近況を報告し、意見や要望を出してもらっている。家族等の会話の中で得られた意見や要望等は、ミーティングで話し合い運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が対応することの重要性を運営者は理解しており、馴染みの職員が継続的に支える体制作りにも努めている。開設時からの職員が多い。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の育成に熱意を持っているため、島という立地条件を考慮しながら、段階的、計画的な研修の機会を職員と話し合いながら設けている。夜勤を交替制にしたり、研修会の報告をして全職員が共有できる仕組みができています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協会、県や郡のグループホーム協会に加入している。離島のハンディはあるが、参加できる研修会には努めて参加して、勉強会も兼ねるように努めている。郡のグループホーム協会で行う、職員の交換研修会も計画中である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>共用型デイサービスというグループホームの運営である。在宅からの利用者が多いため、家族との協力関係ができています。本人や家族にホームを見学してもらったり、遊びにきてもらうなど信頼関係を築いている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>下ごしらえ、調理など、日常生活の中で得意とする事に、力を発揮してもらっている。利用者の昔ながらの島の方言を教わったりしながら、良好な関係を保っている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、言葉や表情、行動から思いや意向を把握している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>生活歴、本人・家族の思いを聞き、ケア会議において職員と意見交換を行い、本人本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>更新前の見直しと状態変化の折に都度の見直しをしている。期間にとらわれず臨機応変に見直しを行い、実践的な対応ができるように努め、見直し後は職員と評価を行っている。</p>		

鹿児島県 グループホームがじゅまる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて病院介助・理美容院への送迎、外出、宿泊等必要な支援は対応している。又、デイサービス、ショートステイの受け入れ等も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医に受診している。往診の依頼を検討している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた取り組みは状態変化時に家族の気持ちや意向を聞き、ホームができる対応を心がけているが、重度化や終末期に備えて関係者での話し合いや連携、体制作りはこれからという段階である。		重度化や終末期の利用者や家族を支えるために医療、連携、職員の力量、諸条件と備えた指針を定めて、ホームができる最大限の支援について話し合うことが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の誇りやプライバシーを、損ねないように声かけや対応に留意している。個人情報の取り扱いについては契約時に利用目的の説明を行い同意を得ている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとして一日の流れはあるが、起床時間や就寝時間など一人ひとりの体調や希望に配慮しながら職員同士が工夫して対応している。		

鹿児島県 グループホームがじゅまる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ、調理、配膳下膳等、一人ひとりが役割を持って職員と行き、同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人、家族から一人ひとりの習慣や好みを良く聞いて相談しながら入浴の支援をしている。		夏場のシャワーだけでなく、入居者の希望に応えられる入浴支援への取り組みが期待される。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事準備、下膳、居室の掃除、洗濯物たたみ等できる事に力を発揮してもらい、人の役に立っているという事を実感してもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	デイサービス利用者の送迎時にドライブを楽しんだり、買い物、散歩等一人ひとりの希望と力量に応じた外出の支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯だけ施錠している。一人ひとりの状態をきめ細かく把握して、鍵をかけずに自由な暮らしができるように支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。消防職員の指導のもと避難訓練や、初期消火の訓練を利用者、職員、地域住民の参加により行っている。台風などの災害に備えた備蓄もしている。		

鹿児島県 グループホームがじゅまる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事量のチェックをしている。献立表を栄養士にチェックしてもらい、摂取量を把握している。水分補給に卓上ポットが用意されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の壁に、利用者の慣れ親しんだ扇風機が取り付けてある。生活感にあふれた工夫がされている。共有空間の随所にソファや椅子が置かれて、それぞれ居心地良く過ごしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、扇風機、籐の椅子、寝具や寝ござ、うちわ、掃除用のほうき等持ち込まれて、それぞれ個性的な居室である。		